

第4章 基本理念

1 将来の都市像

久喜市都市計画マスタープランでは、まちづくりの主役である市民との協働を基本として、市民が安心して快適に暮らすことのできるまちづくり、そして、本市が未来に向けて持続的に発展し続けていくことのできるまちづくりを展望し、次のような基本理念、文化田園都市の将来展望、それらと久喜地区、菖蒲地区、栗橋地区および鷺宮地区の4つの地区の特徴を踏まえて、地区それぞれが相互に尊重する将来都市像を掲げています。

緑の基本計画でも、この目標像の実現に向けて施策を実施します。

【基本理念】

市民の力で魅力ある文化田園都市づくり

【将来展望】

- 1 市民を主役として発展する、協働のまちづくり
- 2 地域の多様性が尊重され、都市が一つになるまちづくり
- 3 将来の社会変化に順応し、持続可能なまちづくり

【都市像】

活力：住と職が織りなす活力創造都市

交流：地域の魅力を高める交流推進都市

環境：ゆとりと潤いあふれる環境共生都市

出典：「久喜市都市計画マスタープラン」（平成25年3月）

2 基本理念

水と緑に恵まれた本市の環境を将来へと継承していくこと、さらに、新しい水と緑の空間を創造し、市民共有の財産として豊かに育て、将来へと引き継いでいくことを願って、緑の基本計画の理念を次のように設定しています。

将来へと継承する水と緑には、日常的に市民生活を豊かにしている、それぞれの市民が暮らしている庭先の緑や窓辺の花など、市街地内の多くの緑も含まれます。

基本理念

**水と緑をまもり・ふやし・つなぎ・そだて、
緑と共生した生活環境を次世代へと継承する**

《基本理念の考え方》

緑の基本計画では、水と緑を用いながら、潤いとやすらぎのある市民の暮らしの実現を目指していきます。さらに、水と緑を扱うことから、生物多様性の維持と向上にも配慮していきます。

本市には、元来、多くの水路、郷土的な屋敷林、遠くから見える高木が多くあるとともに、広大な農地があります。これらは、本市の環境の基盤であり、末永く守り継承するとともに、自然環境の中核拠点として、この拠点を核として市内の緑を育て、つながりを持たせながら、充実させていくことが求められます。

さらに、市街地においても、緑化の推進や公園の整備などにより、緑を増やしていきます。これらの緑に河川や水路の緑がつながることで、水と緑をつなぐネットワークがより豊かなものとなり、身近なところでも緑の息吹を感じることができるようになります。

本市は、文化田園都市として既に河川や水路といったネットワークの基盤に恵まれていることから、これらと、ボリュームのある屋敷林などの樹林地、身近なところに多くある公園、庭先の緑などをつなぐことで、「水のネットワーク」が「水と緑のネットワーク」に変わります。

多くの市民とともに、これらの環境の基盤である水と緑の空間を守り、増やし、つないでいくことで、より身近に感じることができる緑として育てていき、末永く愛される存在として次世代へと継承していきます。